

(行政視察・政務活動・**議員研修**) 報告書

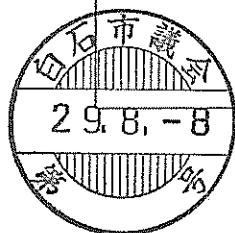
平成29年8月8日

白石市議会議長 志村 新一郎 殿

議員氏名 松野 久郎

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成29年7月31日(月) ～ 8月2日(水)
調査・研修先	市町村アカデミー(市町村職員中央研修所)
調査事項 (研修事項)	市町村議会議員特別講座 ～政策の企画立案～
対応者・講師等	<input type="checkbox"/> 山梨学院大学法学部教授・大学院研究科長 江藤 俊昭 氏 <input type="checkbox"/> 長野県飯綱町議会議長 寺島 涉 氏 <input type="checkbox"/> 新潟県立大学国際地域学部国際地域学科准教授
概 要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	【概要】 ① <背景・目的> 市町村が直面する政策課題に対処するため、市町村議会議員に求められる役割や政策形成のポイントについて学び、政策立案の実践的な能力を習得するために受講した。 ② <内容・特色> 各市町村の議員45名が参加し、講義と9班に分かれての政策討議、「政策立案演習」を行い、最終日に各班からの発表・質疑及び講師からの講評がなされた。 【初日：12時30分～開講式・開講オリエンテーション ・講義・討議】 「多様化する地域課題への対応と議会の新たな役割」について山梨学院大学法学部教授・大学院研究科長の江藤俊昭先生からの講義がなされた。 はじめに、地方政治の負の連鎖について、新たな課題を迫及する議決責任の自覚等についての講義があり、住民とともに考える議会を課題とした、①議会改革の現段階と課題、②議会からの政策サイクルの留



意点、③議会からの政策サイクルの目的、④「住民自治の根幹」としての議会を作動させる条件について学んだ。

討議ではA班に配属され、女性議員1名を含む6名で討議し、まとめ役と記録、発表のレジメ作成を担当し、全体テーマ「住民満足度を高める議会・議員活動」、サブテーマ「読まれる議会広報」について、各自治体で直面している問題点・課題を整理、分析を行い、グループとしての具体的な政策立案について話しあった。

[2日目：9時～ 講義・討議]

「事例研究」として、長野県飯網町議会議長、寺島渉氏から「飯網町議会の議会改革と政策提言活動」について発表がなされた。①議会改革10年の歩みと到達点、実践で明らかになったこと、②議会改革の取り組みの特徴と成果、③議会としての政策立案・提言活動の重視、④開かれた議会、議会の住民参加を広げ「議会の見える化」を進めるための実践について説明がなされた。中山間地の町村が直面している課題について大変参考になった。

その後、新潟県立大学国際地域学部国際地域学科准教授、田口一博先生から飯網町の事例研究についての補足説明とそれぞれの市町村ではどう考えるかについての講義が行われた後、政策立案のポイントについて及び各政策分野の特徴事例について説明がなされた。その後、「政策立案演習」の討議を各班に分かれて実施した。

■A班の取組分野「住民満足度を高める議会・議員活動」について、サブテーマ「読まれる議会広報」とし、政策名を「しってっか? 「りゅうがさき」とした。この政策名は、当グループの竜ヶ崎市議からの課題を解決することを政策目的にしたために名づけた。討議では、現状や課題を出し合い、政策の目的と目標を定め、政策の実施方法、効果と実施に必要な資源について討議し政策立案を策定した。

[3日目：9時～ 発表・講評]

政策立案演習として各班の発表があり、各班のサブテーマは、「中学生・高校生と地域の政治を考える」が2つの班、「議会への住民参加」が4つの班、「効果を生む議員の政務活動」と「議会の防災・災害対応」がそれぞれ1つの班が取り組んだ。各班の発表都度、質疑が行われ、田口一博先生からの講評をいただき修了した。

③ <主な質疑>

H班発表のサブテーマ「効果を生む議員の政務活動」、政策名「元気な町づくりは元気な経済から」の政策立案から、政策の目標及び具体的な政策の実施方法について質問を行った。

④ <考察：感想、課題、政策提案等>

全体テーマである「住民満足度を高める議会・議員活動」から、議会改革の意義や政策サイクルの留意点、執行機関の執行重視に対する議会の住民目線の重視等から、見える化の推進や議決責任の行使と説明責任について、大変参考になった。また、各市町村の議員の皆さんと討議ができ、それぞれの取組や課題等について情報交換ができたことは大変有意義であった。研修を通して、多様化する地域の課題と議会の新たな役割について、第二の議会改革の必要性を実感した。今後の議員活動に活用して行きたい。大変有意義な研修であった。

以上